

令和7年度 子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人）に対する 文部科学大臣表彰について

令和7年度「子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣表彰」において、本県から次の学校園、図書館、団体が被表彰者に決定しました。

学校法人佐藤学園 開南幼稚園

開園当初から、子どもにとってのよりよい環境づくりの一つとして図書室を位置づけ、専任を配置し、豊富な絵本を常備（約4, 200冊）して絵本にひたる環境を構成している。また、専任がいつでも読み聞かせを行って来て、語り部の語り、読み聞かせサークルの読み聞かせなど、子どもたちが絵本に興味をもち、親しむ環境づくりがなされている。

矢祭町立矢祭小学校

児童や学校主体の活動はもちろんのこと、関係団体や図書館との連携を密にしながら、「読書の街やまつり」を体現すべく多様な取組を実践している。「子ども司書講座」を学校のカリキュラムの中に位置付け、すべての子どもたちが本や図書館に触れる機会を増やし、多様な読書機会の創出に努めている。

郡山市立桜小学校

読書と学習スペースを分けたり、書籍の配置や掲示を工夫したりして読書意欲の向上に向けた環境づくりが図られており、令和5年度の児童の平均読書量は、県平均を5冊以上上回っている。タブレット端末を効果的に活用し、児童が学校図書館に足を向ける工夫だけでなく、授業支援アプリ「ロイノート・スクール」による図書館だよりの配信、学校司書が授業支援や学級担任との授業づくりの情報共有を行う等、郡山市が推進する学校図書館DXを体現している。

福島市立蓬萊東小学校

学校経営の柱の一つとして「読書活動の推進」を位置付け、全校をあげて読書活動に取り組んでいる。空き教室を効果的に活用し、子どもがいつでも本を手にすることができる図書館を実現させたことで子どもたちの図書館利用増につなげている。さらに、新設された図書館の「愛称募集」や「全校生で物語を完成させよう！読書パズル」等、読書活動充実に向け、図書委員会がアイデアあふれる活動を主体的に展開し、児童の読書量も増加傾向にある。

富岡町図書館

富岡町図書館は、避難区域となった自治体でいち早く図書館サービスを再開した。図書館情報誌では、本の貸出だけではない図書館の魅力を定期的に発信し、子どもたちが図書館へ足を運ぶきっかけづくりにもなっている。「出前おはなし会」では、未就学児を対象に図書館職員が出向いて読み聞かせ等を実施し、町から離れてしまった家庭への読書支援も行っている。

読み聞かせ会「あのね」

古殿町内在住の女性10名からなる読み聞かせ団体であり、小学校をはじめ、町図書館、デイサービスセンターや地域の集会、または、町外等でも読み聞かせのボランティアを行っている。読み聞かせや紙芝居の上演を行う中で、町内の各地域に伝わる伝説や民話を掘り起こして紙芝居化する活動「古殿まち物語紙芝居化プロジェクト」も行っている。